

長野県総合計画審議会委員からのご意見・ご提言の要旨一覧（五十音順） 1 / 4

区 分	青 山 佳 代 委 員	内 山 節 委 員	小 口 寿 夫 委 員	金 早 雪 委 員	小 林 貫 男 委 員
時代の潮流 ・ 長野県の現状と課題	人口減少 東京から近い地域での二地域居住人口の増加 幹線交通網からの二次交通の整備の遅れ	当面の課題を追いかける時代から子孫に残すべきものを考える時代への変化 世界から観光客が来るようになった日本の観光地 溶け始めている台湾、韓国との国境若者の価値観の変化（留学目的・留学先の変化など）	限られた資源 グローバル化 少子高齢化、生産年齢人口の減少 地域で共に支え合う社会へ 医師・看護師不足 介護・福祉の施設・従事者不足 医療・福祉の制度設計の脆弱さ	少子高齢化と国際化 ASEAN+3（日中韓）の枠組みでの交流の重要性 女性の働き方の変化	少子高齢化の進展 雇用環境の悪化 厳しい財政状況 地方分権の進展
未来につなぐ 長野県らしさ ・ 長野県の強み	クライנגルテンの先進地 外国人観光客の増加 温泉が楽しめるスキー場が多数 グリーンツーリズムの先進地		豊かな自然、地域的多様性 人とのつながり 高度なものづくり産業の集積 老人医療費が低く健康長寿県	豊かな観光資源 歴史的に培われてきた「ものづくり」の技術	大都市圏に近接する地理的条件 豊かな自然環境 ものづくり産業の優位性 豊富な観光資源
県づくりの 基本的な視点 ・ 長期的にめざす姿 ・ 基本目標 (キャッチフレーズ)	美しい・強い・絆 強い国土防災力＝暮らしの基盤 「業」の活性化 二地域居住者の定住化による地域活性化 日本人にも外国人にも訪れてもらえる魅力ある観光地の創出 マイカー依存のまちづくりからの脱却	将来へ残すべきものは何百年も続いてきたもの（「自然」、「第1次産業」、「結び合った社会」など） 将来に向けた現実的な取組の積み重ねが重要 世界を意識した魅力ある観光地 文化・経済が相互につながる台湾・韓国との関係	県民の視点＋グローバルな視点、挑戦と創造の視点 子育ての場、教育の場、働く場、生活の場、安心老後の場 教育・医療は社会的共通資本 協働、自助の精神 地域ごとに安全安心な医療・介護福祉体制の確立とシームレスな連携 健康で安心な生活、活力あふれる県	少子高齢化を前提とした施策展開 伝統を大切にす視点 一人ひとりを大切にす視点、「ちがいを」を前提とした政策決定 「ちがいが」が機動力となる社会 未来指向と世界指向	厳しい財政状況を踏まえた施策の重点化 県民の力の結集、総合力による施策推進 安全・安心に暮らすことができる社会、高齢者が暮らしやすい社会 「夢と希望」がキーワード
めざす姿を 実現するための施策 ・ 優先的に取り組むべき テーマ	クライングルテン利用者等の二地域居住者を通じた地域活性化の仕組みづくり及び定住化の促進 スキー以外の楽しみを提供できる「スノーリゾート」への転換、日本ならではの「温泉も楽しめるスキー場」づくりの推進 グリーンツーリズムなどのニューツーリズムをはじめとする観光サービスの質の向上 車を利用しなくても目的地へ行けるまちづくり	「伝統的なもの」「自然遺産的なもの」「日常生活空間」の組合せによる魅力ある観光地づくり 産業構造の変化に対応できない者に対するセーフティネットの整備 県産品に係る安全基準の統一、ブランドの確立	教育力の強化 若者が集まる環境整備 地域医療環境のあるべき姿の見える化（必要な従事者数等の試算、交通網・情報通信環境の整備） 医師・看護師の確保推進 地域完結型医療提供体制の構築、医療と介護の密な連携 女性医師などの職場環境の改善 がん検診・特定健診等受診率の向上 医療を核に産業・環境モデル創造 環境を利用した医療ツーリズム	少子高齢化に対応した社会システム構築に向けた議論の喚起 信州まつもと空港の機能充実によるインバウンドの取り込み 学校における長期的な視点での英語教育 一般県民に対する英語教育 環境関連産業の展開 男女が共に子育てに関わる環境整備	新卒者への就職支援 高齢者をはじめとする交通弱者対策 強みを活かした観光施策 市町村が個性的な地域づくりを進めるための支援 公の一端を担う地域コミュニティの再評価と機能の強化
そ の 他	他の審議会との連携		病院は地域の財産・資源	女性副知事登用は県民へのメッセージ	総花的であってもメリハリのある計画 実現可能な夢を描く計画

長野県総合計画審議会委員からのご意見・ご提言の要旨一覧（五十音順） 2 / 4

区分	小松正俊委員	近藤光委員	中島実香委員	野原莞爾委員	樋口一清委員
時代の潮流 ・ 長野県の現状と課題	アジア向け輸出の増加 円高基調の継続 T P P等貿易自由化の動き 少子高齢化による高齢者単独世帯の増加や老老介護の増加 中山間地域では農業はもちろんのこと、生活の維持が課題 ゲリラ豪雨の多発	雇用環境の変化 県内ものづくり産業の空洞化 新卒者の就職環境の悪化 自然災害のリスクの高まり 行政サービスの限界 人間関係の希薄化	少子高齢化の進展 核家族化による女性の介護や育児の負担増加 高齢者世帯の増加による買い物弱者問題の顕在化 県産農産物などの宣伝不足	人口減少による社会構造の変化 リニア中央新幹線の整備 都市と地方の情報格差(情報の加工能力の不足、それを展開する人口の不足、事業の経験が不足) 結びついていない、医療、農業、観光資源などの1つ1つの強み	非常に厳しい経済情勢 高齢社会、成長率の低下 活躍の場の少ないシニア世代 地球環境問題に対する取組の強化 さらに進むグローバル化 情報ネットワークの発達に伴う産業集積の形の変化 外資に開かれていない長野県
未来につなぐ 長野県らしさ ・ 長野県の強み	山村留学を県内6箇所で開催し、受入人数は全国一	高齢者の就業率の高さが健康長寿にもプラスに作用	首都圏との時間距離 信州の知名度・憧れ	南の北限・北の南限である動植物の多さ	オリンピックをきっかけとした知名度の高さ 世界に発信できるすばらしい自然・景観と健康長寿
県づくりの 基本的な視点 ・ 長期的にめざす姿 ・ 基本目標 (キャッチフレーズ)	アジアを中心としたグローバル化への対応 T P P協定交渉については、参加10か国のうちG D Pの多い日米間の問題が重要 T P Pは、農業以外の分野も含めた影響について国民的議論が必要 農業を雇用の受け皿として捉えることが必要	行政サービスを補う仕組みづくり お互いに支え合うことの大切さを再認識する必要性 「働くこと」を軸に進める県づくり 社会のリスクを社会全体で背負う 多面的なネットワークを紡ぐことができる意識の醸成 地域の繋がりを取り戻す視点 協力し合い支え合う信州(長野県)	暮らしやすい県 産業の振興と雇用の場の確保 地域や社会での支え合い	「力強い長野県」を狙いに 新しい行政のあり方と税金の使い方の提案 リニア中央新幹線駅の設置を契機とした下伊那地域の発展 地方の情報をいかに加工して発信するか、また都市の情報をいかに得て加工して活用するかが重要 「信州ブランド」の確立	グローバルな発想・視点 グリーンイノベーションや、ライフイノベーションへの重点化 地域ぐるみの社会システムの革新を伴うグリーンイノベーション 地域の活力・成長の確保 中長期的視点での弱みを強みに変える発想の転換
めざす姿を 実現するための施策 ・ 優先的に取り組むべき テーマ	農産物の輸出については中・長期的なメリットを確認しつつ対応 地域特性を活かしたブランド化と県全体のブランド力向上 産学官連携による新規就農者支援 コミュニティの再生を鍵に以下の施策を展開することが重要 ・水路維持や遊休荒廃農地の解消 ・地域全体で支える子育て ・地域で展開する食育活動 ・災害時要援護者や買い物弱者支援 農作業の健康増進効果の再認識	人口減少下での雇用の確保 意欲ある若者への就職支援 大学・高校での職業教育の充実 災害に備えた重層的なネットワークづくり 「地域での協働」の推進 東海地震を想定した建物の耐震化	介護や育児での女性の負担軽減のための仕組みづくり 高齢者の知識や経験の有効活用 農産物をはじめとする地域ブランドのマーケティング戦略 産科をはじめとする医療の充実 観光資源の発掘と外国人誘致 買い物弱者対策	財政、観光、産業、雇用などを強化 税収増につながる先行投資としての補助金への転換 行政運営に民間からの寄付金を導入するための税制の改正 情報を活用するインフラ整備 情報や経験の不足を補い地域を活性化させる交流の促進 交流人口、定住人口の増加のための魅力づくり 「信州ブランド」の確立のため、長野県の棚卸し	グリーンイノベーションを担う環境人材(T字型人材)の育成 起爆剤となる技術開発(環境・医療) 中小企業のグリーン化推進 情報ネットワークを活用したシニア世代や女性による創業の支援 社会的企業による地域のニーズを受け止めるネットワーク整備 中山間地域の高齢者への生活上の安全に係る情報の伝達 インバウンドの促進 地域リーダーの養成
そ の 他		計画策定を巡っての全県的な議論の喚起 皆が共有できる計画			独自性・新規性が高く、チャレンジするようなモデル的な取組の提示 百科事典型でない計画

長野県総合計画審議会委員からのご意見・ご提言の要旨一覧（五十音順） 3 / 4

区分	藤原忠彦委員	松岡英子委員	諸富徹委員	山沢清人委員	山田勝文委員
時代の潮流 ・ 長野県の現状と課題	社会経済情勢は、今後も大きく変動 国際的な情勢はこれからも変動 地域主権の議論の深まり	少子高齢化の進展 老後に不安を持つ豊かな高齢者 家庭教育により生じる格差を是正する義務教育の重要性 ゆとりのない学校現場 地域のつながりの希薄化 自然の豊かさで「長野県らしさ」を出す難しさ	経済の低成長化、財政制約、人口減少、高齢化、環境など、様々な制約条件に直面 制約条件下で幸せを最大化するという難しい局面に対峙 環境、観光、農業の6次産業化、街並みや歴史的遺産など、物質的でないものの価値を高く評価する時代	経済不況や高齢化など課題は山積 長野県は全国より早く高齢化、過疎化などが進展	少子高齢化に伴う労働人口、消費人口の減少 高い高齢化率、その一方で長寿県 買いたい物がないという意識による国内の需要不振 節約意識の高まりによるデフレの深刻化への危惧 野生鳥獣被害の深刻化
未来につなぐ 長野県らしさ ・ 長野県の強み	歴史、文化や風土など独特な個性を持つ地域	他県からの教育県との評価	人々の持っている知識、知恵やデザイン性といった、非物質的な価値についての非常に高いポテンシャル	観光、食、暮らし、伝統等多岐にわたる分野を支える環境県 緻密なものの考え方で、知的レベルが高い信州人	高い健康への意識 豊かな自然、水を供給している日本の屋根
県づくりの 基本的な視点 ・ 長期的にめざす姿 ・ 基本目標 (キャッチフレーズ)	国際的な視野 国内だけを考えず、世界とどう付き合っていくか考えることが必要 個性を生かした地域社会の形成 リーダーシップをとって、地域と一緒に動く県 経済の安定が重要	少子高齢化の進展をマイナスではなくプラスに リタイア後も住みやすい長野県づくり 長野県を支える人材の育成 県民の信州教育への自信の復権 人的ネットワークで支える地域づくり	制約条件下で何に優先順位を付けるかが非常に需要 グローバルな競争社会では、全体の底上げでは、全体が沈下 学校教育や社会人に対してなど、人的資本に対する投資が必要 人間のつながり、ネットワーク強化 働く場、生活の安全・安心さと、文化的な楽しみが必要	さまざまな課題に各市町村や企業、NPOなどがネットワーク化を図り、5年後、10年後の姿を形作っていくことが必要 観光産業への重点化 過疎地域の生活を維持するためには最小限の建設業が必要 自然環境や長寿という点を積極的に県内外へPR	Kのつくもの（経済、環境、教育、子育て）への対応 産業政策への重点化 観光は県内経済にとって重要な要素 市町村と県との連携や役割分担による、見える形での施策の推進
めざす姿を 実現するための施策 ・ 優先的に取り組むべき テーマ	国際戦略、特にアジアに向けた成長戦略 経済政策、成長政策を優先的にを行い、「食べる」県土づくりを推進 子どもたちが地域の文化や風土を継承できる教育体制の整備 人口、財政力のほか、歴史、文化、輩出した人物や観光資源など、あらゆる情報を網羅した“市町村カルテ”の作成	高齢者関連産業の振興による県内経済の活性化 介護分野における施設整備や雇用拡大 小中学校の教育を連続的に行うための取組 ゆとりをもって教育できる環境の整備 地域のつながり強化のための取組 地域のつながり強化のための取組 観光地における環境保全	伸びる人材を県内にとどめて、投資していくことが必要 観光資源の海外への積極的な売り込み 製造業のグリーンイノベーション 緑の分権改革で出た芽を発展させることが必要 農林業と環境を合わせて振興。オフセット・クレジットや環境教育も促進可能 建設業の省エネ改修ビジネスへの誘導	学校教育、大学、企業や地域における専門職業人などの人づくり 海外からの旅行者を獲得することによる観光産業の振興 観光業自体を魅力ある就職先にし、雇用面から地域活性化を促進 農産物の地域ブランド化 排出権取引を視野に入れた森林の買い占めへの対応策 自然環境や健康長寿の積極的PRによる信州へのIターン拡大や定住化施策の促進	消費者需要の喚起につながる取組 製造業の県内での再投資 製品開発分野への積極的な取組 差別化による宿泊観光客の増加への取組 地域ごとのテーマで取り組む広域的な観光振興 抜本的解決につながる野生鳥獣被害対策の取組
その他	計画のローリング性も必要 総花的でない、実効性のある計画 高いレベルの“夢”を描いた計画	計画策定にあたっては効果の測定を踏まえた成果指標を設定することが必要		企業の経済環境や県の財政状況等を踏まえた計画 企業等との役割分担を意識	優先性を踏まえた内容の検討

長野県総合計画審議会委員からのご意見・ご提言の要旨一覧（五十音順） 4 / 4

区分	上原 貴夫 専門委員	小澤 吉則 専門委員	中澤 勇一 専門委員	武者 忠彦 専門委員
時代の潮流 ・ 長野県の現状と課題	経済回復・力強い経済の構築 高齢化社会・長寿社会の進展 高速交通時代	先進国主導から多極型成長へ 人口減少、高齢化 900兆円を超える国債残高 付加価値の低い長野県産業 時代に対応した産業構造の転換 観光業の脆弱な経営力 耕作放棄地、後継者不足、鳥獣被害 等多くの課題を抱える農業	地域偏在等による医師不足 高齢化の進展 医師の高齢化、女性医師の増加	低成長経済、少子高齢社会、低炭素 型社会、産業のグローバル化、地方 分権 まちづくりは近代化から多様化へ、 量的充足から質的充足へ 持続可能な地域をいかに構築する か
未来につなぐ 長野県らしさ ・ 長野県の強み	長寿世界一 世界とつながる長野県(グローバル 社会、高速交通網、情報網) 豊かな生活・文化、自然、歴史	豊かな自然環境 世界一の長寿県 人柄の良さ 精密微細加工の集積地	一人当たりの老人医療費が全国で 低い方から3番目	盆地地形に裏打ちされた地域ごと の個性と自立性 大都市圏からの適度な距離 農業と観光業に適した自然環境
県づくりの 基本的な視点 ・ 長期的にめざす姿 ・ 基本目標 (キャッチフレーズ)	県民参加のデュアルアクション 圏域(クラスター)に分けて推進 産・学・官・民の協働 長寿で、豊かな文化生活を実現する ことを可能にする県 安心して産む・育てることができる、 来たくなる、住みたくなる県 誰でも働きがいのある県 学ぶ機会が平等にある県 「長寿長野」	若者が継続して住みたい、大学に進 学した若者が戻って来たくなる郷 土 付加価値の高い産業構造への転換 地域コミュニティや森林農地の再 生 世界一の環境と健康の郷土“NAG ANO”	医療における地域格差の解消 病院完結型医療から地域完結型医 療への移行 医療の質、効率性の向上 少子化への対策ではなく、限られた 人材の活用を考えるべき 再雇用等による女性や高齢者の就 業率の増加	地域の持続可能性 投資や人口を誘導する仕組みづく り 地域経営的な視点 行政に頼らず、さまざまな主体で権 限とリスクを分担し、技術や知識を 持ち寄って、課題を解決する「地域 ガバナンス(民主的なルールづくり の仕組み)」の構築
めざす姿を 実現するための施策 ・ 優先的に取り組むべき テーマ	合計特殊出生率の上昇など、自然 増、社会増による人口の増加 高齢者、障害者、女性・外国籍県民 の雇用対策による生産人口の増加 子育て支援、老後の生活保障、医療 の充実等福祉の充実 宇宙産業の技術を応用した生活分 野での新産業創出 学力、特別支援、不登校対策等多様 な教育の保障	環境や健康分野など、時代の変革に 対応した成長産業への構造転換 研究開発機関や研究開発型企業の 誘致、産学官連携 環境や健康をブランドとした地域 資源製品の開発と販路開拓 旅館・ホテルの経営力強化及び地域 内連携 農産物直売所などの事業展開 地域内でお金が循環する仕組みづ くりと人材育成 商業の経営力強化	救急移送手段の適正化 病院と診療所の連携 専門医等医療資源の適正配置と、医 療資源の集約化、医療圏の見直し 地域に共通した電子カルテの導入 在宅医療の強化 総合医、家庭医(GP)の強化 IT技術を用いた高齢者の暮らし の支援 女性医師・看護師の働きやすい環境 の整備	コンパクトシティ関連施策(交通体 系見直し、中心市街地への居住促進 と生活環境整備) 中心市街地の空洞化対策 地域性をいかしたまちづくりへの 支援 市民による地域活動へのさらなる エンパワーメント(自律性を持つた めの権限の付与) 運営管理部分を民間の経営能力に 信託することによる公共ストック の利活用
そ の 他				